

平成 26 年 11 月 19 日

『和食；日本人の伝統的な食文化』が、ユネスコ無形文化遺産に登録されてもうすぐ 1 年。

い い にほんしょく

11月24日は、「和食」の日。

～農林水産省『和食の日を活用した「和食」再認識全国展開事業』～

日本百貨店協会[会長:茶村俊一 J.フロントリテイリング株代表取締役会長、会員数:83 社 226 店舗]では、『和食；日本人の伝統的な食文化』が、ユネスコ無形文化遺産に登録されて初めて迎える「和食」の日(11月 24 日[いいにほんしょく])の認知拡大に向けて、農林水産省『和食の日を活用した「和食」再認識全国展開事業』に取組み、『和食会議』と連携し、11月 24 日を PR します。

当協会では、百貨店の社会的役割や特性を鑑み、業界の強みである「歴史と文化」・「娯楽」、そして地域との「絆」を再確認する取組として、昨年12月にユネスコ無形文化遺産に登録された、世界に誇る宝である食文化、「和食」について、百貨店という場を活かし、さまざまな角度からクローズアップし、旬の食物や地域の味などと絡めながらその魅力について全国に向けて発信していきます。

* 農林水産省『和食の日を活用した「和食」再認識全国展開事業』

農林水産省では、平成 25 年 12 月 4 日、「和食」がユネスコの無形文化遺産として登録されたことを受け、日本国内において、日本食・食文化に関する再認識・普及に関する提案を公募し、日本の伝統文化を含め国産農林水産物等の消費拡大に繋げる取組みを実施。

* 「和食」の日(11月 24 日・いいにほんしょく)

日本の食文化について見直し、「和食」文化の保護・継承の大切さについて再認識するきっかけの日として、11 月 24 日(いいにほんしょく)を「和食」の日と制定。(一般社団法人日本記念日協会認定)

◆ 全国に広げます！ 全国の百貨店83社226店舗が、「和食」の日を掲示



オリジナルポスター

11月24日「和食」の日に向け、全国の百貨店で「和食」の日を内外に向けて発信する協会オリジナルポスター・店頭POPを日本百貨店協会にて制作提供。

オリジナルポスター・店頭POPを活用しながら、「和食」をアピールする売場やイベントなどの展開を協会から全国の百貨店に呼びかけ、「和食」及び「和食」の日の全国的な再認識を図っていきます。

◆ 全国に広げます！ 「和食」の日

各地の百貨店では、百貨店ならではの「懸垂幕」や、和食ツアー、振るまい鍋、和菓子セミナー、お茶・味噌の歴史、日本料理の出汁講座など、様々なイベントを通じてお客様に「和食」の魅力を再認識していただきます。



◆ 「和食」文化の保護・継承 国民会議=「和食会議」とは

「和食」文化の保護・継承 国民会議(略称:「和食会議」)は、「和食」のユネスコ無形文化遺産登録申請を契機に、「和食」文化を次世代へ継承するため、その価値を国民全体で共有する「和食」文化の保護・継承プロジェクト(Washoku JAPAN)を開催しています。

あらゆるシーンで日本の食を支える食品メーカー、フードサービス、観光業などの様々な企業、そして地域の郷土料理保存会や食育団体・NPO・料理学校等の食にかかる団体、地方自治体、個人など、720者以上が会員となり、「和食」文化の次世代への継承の取組みを進めています。引き続き国民と国とが一体となって取組を進められるよう、これまで以上に日本食文化の保護・継承と、その魅力発信に積極的に取組んでいきます。

* 平成25年7月、農林水産省より事務局業務が移管されると同時に、より一層の団結を図り国民運動として盛り上げていくため、また、継続的に「和食」文化の保護・継承活動を行っていくため、団体名を『日本食文化のユネスコ無形文化遺産化推進協議会』から、『「和食」文化の保護・継承 国民会議(略称:「和食会議」)』に改変しました。

* 本件に関するお問い合わせは、日本百貨店協会 広報担当 までお願いします。

11月24日は、
「和食」の日。



「和食」文化の
保護・継承
プロジェクト

伝えよう、「和食」文化を。

11月24日(いいにほんしょく)が「和食」の日と制定されました。

日本百貨店協会は、「和食」文化の
保護・継承プロジェクトの活動を応援しています。



日本百貨店協会 農林水産省



いいにほんしょく
11月24日は「和食」の日

日本の食文化について見直し、「和食」文化の保護・継承の大切さについて考える日

日本の秋は「実り」の季節です。「自然」に感謝し、来年の五穀豊穣を祈る祭りなどの行事が、全国各地で盛んに行われる季節でもあります。

日本の食文化にとって大変重要な時期である秋の日に、毎年、一人ひとりが「和食」文化について認識を深め、「和食」文化の大切さを再認識するきっかけの日として、11月24日(いいにほんしょく)が「和食」の日と制定されました。

ユネスコ無形文化遺産登録された「和食;日本人の伝統的な食文化」とは

2013年12月4日、バクー(アゼルバイジャン共和国)で開催されたユネスコ第8回無形文化遺産保護条約政府間委員会において、

「和食;日本人の伝統的な食文化」のユネスコ無形文化遺産への登録が決定しました。

申請では、「和食」は料理そのものだけではなく、「自然を尊ぶ」という日本人の精神に基づいた「食」に関する「習わし」と位置づけられており、ご飯を中心とする食文化のことを指します。

多様で新鮮な食材と素材の味わいを活用

地域に根ざした食材が用いられ、素材の味わいを活かす調理技術・調理道具が発達しています。



栄養バランスに優れた健康的な食生活

ご飯、汁、お菜、漬物を基本とした理想的な栄養バランスで、「うま味」を上手に使用した動物性油脂の少ない食生活を実現しています。



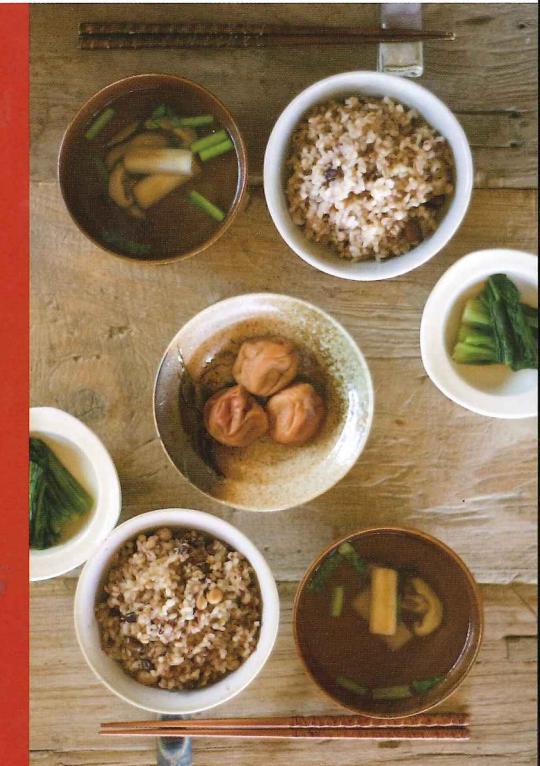
自然の美しさや季節の移ろいの表現

食事の場で、自然の美しさや四季の移ろいを表現し、季節に合ったあしらいや、調度品・器の利用をして楽しめます。



正月などの年中行事との密接な関わり

食文化が年中行事と密接に関わっており、自然の恵みである「食」を分け合い、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆を深めてきた特徴があります。



地域のシンボルとして生活に密着し、四季折々の年中行事、伝統文化、国内外の新しいものを紹介し広めてきた百貨店。

日本百貨店協会では、その強みである「歴史と文化」・「娯楽」、そして地域との「絆」を再確認し、旬の食物や地域の味、日本食・食文化の魅力を発信していきます。



日本百貨店協会 農林水産省